

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第28号（令和4年12月21日）

ようこそ先輩！

12月15日（木）、中学校区一貫教育の取組の一つとして、玉中学校の生徒さん達が玉小学校に来てくれました。今回の取組の中には、今までコロナ禍で中止になっていたものもありますが、今年度は少しずつ再開しています。

あいさつ運動



生徒会執行部のみなさんが朝早くから、校門であいさつ運動をしました。とても寒い朝でしたが、中学生のみなさんは、登校してくるみんなの目を見て、「おはようございます！」と元気にあいさつをしていました。みんなもそれに応えて、普段よりも大きな声であいさつをしていました。中学生のみなさんからとても元気をもらいましたね。私も元気をもらいました。

読み語り



なかよし



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生

生徒会執行部・文化委員会・有志のみなさんが、各学級の朝の時間に読み語りをしました。中学生のみなさんは、この活動のために、それぞれの学年に合った本を選び、みんなが分かりやすいように放課後、何度も読む練習をしたり、クイズを考えたりと、時間を使って頑張ってくれたそうです。ありがたいですね。みんなもしっかりと聴いたり、最後に「ありがとうございました。」と言えたりしました。その態度はとても立派でした。



6年生

ようこそ先輩！



今年の3月に玉小を卒業した現玉中1年生5名のみなさんが来て、6年生に玉中のこと（授業やテスト、家庭学習について、学校生活・学校行事などについて）を教えてくださいました。「授業のスピードは速いから、家庭学習をしっかりしておかないといけないよ」「倉敷少年自然の家での校外学習で“協力すること”の意味を知ったよ」というような自分が経験したことをもとに「こうしたらいいよ」というアドバイスをしてくれました。



その後、グループに分かれて、体験や質問などをしました。体験では、中学生が使っているかばん《国語・社会・数学（小学校では算数ですが中学校では数学といいます）・理科・英語の教科書やノート、問題集などが入っていたそうです》を持ったり背負ったりしました。「重い〜！！」という声があちこちで聞こえました。ランドセルより重そうでした。質問では部活動のことなどを質問していました。

6年生のみんなの目には、昨年度まで一緒に遊んでいた現中学1年生がどう映ったのでしょうか？…中学生の言葉づかいや態度から、“あの頃とは違う少し大人の雰囲気”や“あんなふうになりたい”という《あこがれ》を感じた人がいたと思います。

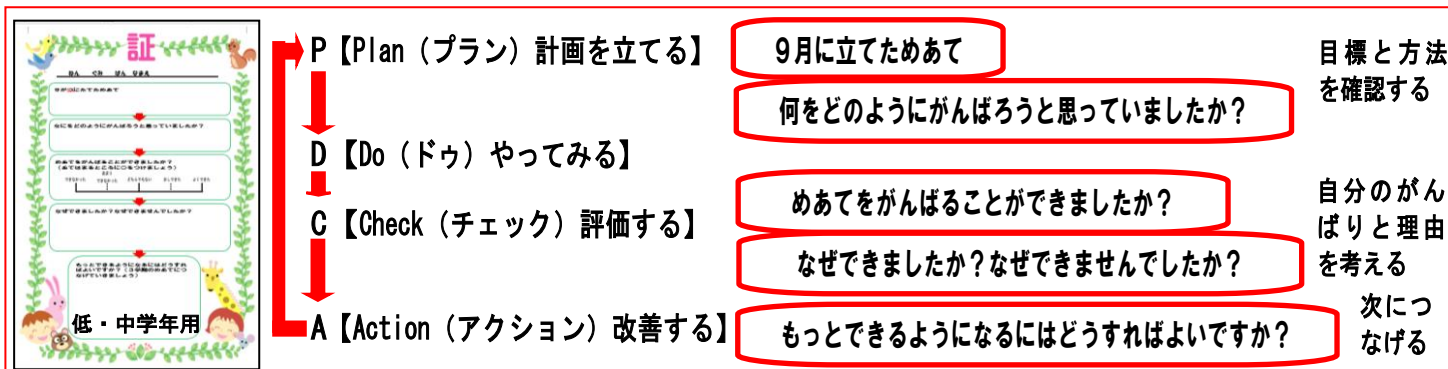
その先輩達から「みなさんが入学してきた時、私たちは中学2年生です。入学して分からないことがあったら何でも相談してください。みなさんにとって良い先輩になれるように私たちも頑張ります。」という言葉がありました。とても頼もしかったです。

キャリア教育 (PDCA サイクル)

2学期の振り返りをしました

12月に入って、9月に立てた【めあて】の振り返りをしました。（1学期末にも行いましたね）この目的は、自分が立てた【めあて】を大切にする（書いただけにしない）や自分の考えや行動をよくしていく方法を考える（PDCAサイクルをまわす）ことです。

振り返り用紙の項目をくわしく見ると、下の図にあるような思いを込めています。



PDCAサイクルは少し難しいですが、自分のめあてと行動を振り返り、次につなげることができます。これを何度も何度も行うことで、《なりたい自分》への方法がはっきりします。